

宮城県保健環境センター年報

昭和63年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.7, 1989

宮城県保健環境センター

は じ め に

此度、宮城県保健環境センターの昭和63年度業績をとりまとめ、年報として発刊することになりましたので、御高覧賜わりたくお願い申し上げます。

さて本年（平成元年）は、地研創立40周年の記念すべき年にあたっており、全国地研協議会では6月に東京で記念行事を行いました。全国には、当県の保健環境センターに相当する機関がいろいろな名称で存在しており、その事業内容もとりくみなども当然のことながら違っているわけですが、基本的な姿勢は同じではないかと思われまます。それは、県の機関であり、そこに働く職員は県の職員（当県では研究職）であるということです。何事もこの基本的な考え方に立てば、検査や研究などもどのようなことを、どこまで行ったらよいかの判断が明白になるうかと考えております。

本県の保健環境行政についてみれば、最近ではその対策が、人間の疾病・衣食住・生活環境から地球環境へと際限なくひろがりを見せてきており、保健環境センターのなすべき役割も試験検査・調査研究・研修指導から情報収集・解析・還元へと巾ひろく、しかも深くなってきているわけですが、その中にさらに研究的な思考を取り入れて、県の保健環境行政を科学的なデータでバックアップしてゆく姿こそ、センターの今日的な態度であろうかと思ひます。

「云うは易く……」で現実にはなかなかむずかしい面もありますが、時代の流れに合わせていくことも我々としては必要なことでありましよう。いずれにしても、自然科学は際限なく進歩し地球環境の破壊が心配されている今日、いままでとは違った観点からの見直しが必要な時期にきているものと思われまます。

最後になりましたが、本年報を発刊するにあたり御指導、御協力いただきました関係各位に心から感謝を申し上げる次第です。

平成元年10月

宮城県保健環境センター

所 長 湯 田 和 郎

目 次

A 事業概要

I 総 説

1. 沿 革	1
2. 機構および業務分担	1
3. 職 員	2
4. 予算および決算	3
5. 主要機械器具	3

II 概 況

1. 情報管理部の概況	8
2. 微生物部の概況	11
3. 理化学部の概況	19
4. 環境衛生部の概況	29
5. 大気部の概況	33
6. 水質部の概況	38

B 調査研究

I 論 文

1. スギ花粉症の研究	45
(第一報, スギ花粉飛散と患者の実態調査)	
助野 典義, 紺野 光雄	
2. 感染症サーベイランスデータ解析の試み	49
三浦 英美, 助野 典義, 紺野 光雄	
3. 昭和63年度日本脳炎疫学調査	54
— 宮城県におけるコガタアカイエカの発生消長・屠殺豚	
HI抗体の動向および住民の中和抗体保有状況 —	
山本 仁, 秋山 和夫, 御代田恭子, 佐久間 隆	
山田久美子	
4. 神経芽細胞腫マス・スクリーニング — 検査方法の変更について —	59
加茂えり子, 清野 陽子, 白石 廣行, 山本 仁	
5. 先天性副腎過形成症検査試薬キットの検討とスクリーニング実施状況	63
沖村 容子, 山田久美子, 白石 廣行, 山本 仁	
6. 先天性代謝異常マス・スクリーニング	67
菅原 寿絵, 一條 敦子 新妻 澤夫, 沖村 容子	
山田久美子, 白石 廣行, 山本 仁	
7. 宮城県におけるレプトスピラ症	69
— 県内で分離したレプトスピラの血清型を中心に —	
佐久間 隆, 御代田恭子, 秋山 和夫, 山本 仁	
8. 宮城県におけるツツガムシ病調査 — 1987と1988年の調査成績 —	73
秋山 和夫, 山田久美子, 佐久間 隆, 御代田恭子,	
山本 仁	

4. 宮城県のスパイクタイヤによる道路粉じんの概況	180
氏家 愛子	
II 学会発表	183
III 業績発表会	187
IV 談話会	191
年報執筆要領	192